

# 石狩の川

石狩市の川と言え、ほぼ中央部を貫流し、日本海に注いでいる大河である「石狩川」（流路延長268.2km）が一番にあげられます。石狩川は、大雪山系石狩岳（標高1,967m）に源を発すると言われ、大小1570以上の支流をもち、その流域面積は、北海道全体で14,330km<sup>2</sup>あります。

石狩川氾濫や高潮の被害から家屋等を守るため水流・水量の制御・調整をするために行なわれた、石狩川治水事業によって旧河道となった支流として、以前は「古川」、「旧石狩川」と呼ばれていた、「茨戸川」（流路延長17.4km）、「真勲別川」（流路延長2.1km）があり、その流域面積は合わせて155.2km<sup>2</sup>あります。

茨戸川には、札幌市方面から「創成川」、「伏籠川」が注いでいます。また、石狩市と札幌市北区との境を「発寒川」（流域面積24.5km<sup>2</sup>、流路延長8.2km）が流れています。



（三上正一）

河川名称	流路延長 (km)	河川名称	流路延長 (km)
①石狩川	268.2	⑩7号排水川	7.0
②石狩放水路	2.5	⑪9号排水	4.1
③茨戸川	17.4	⑫聚富川	7.0
④真勲別川	2.1	⑬聚富新線川	3.5
⑤発寒川	8.2	⑭知津狩川	14.5
⑥樽川	7.6	⑮鈴木の沢川	2.8
⑦生振3線川	3.6	⑯地藏沢川	5.0
⑧生振5線川	3.6	⑰五の沢川	4.6
⑨美登位川	2.5	⑱八の沢川	2.8

- (1) 北海道土木協会（1984）北海道河川一覧、北海道土木協会。  
 (2) 石狩町（1972）石狩町誌／上、石狩町。